

といかん・ふるさと同窓会 in 東京 報告書

【日時】：令和7年11月3日（月）14時～16時

【場所】：東京交通会館 第一会議室B（3階） 東京都千代田区有楽町2丁目10-1

【町等参加】

- ・町：野々村町長、山下課長、小林協力隊員、小川集落支援員
- ・NPO法人ミナといかん：芳野代表理事、齋賀副代表理事

【開催方法】

- ・東京会場：現地開催
- ・問寒別会場：NPO法人事務所（オンライン接続）ふるさと中継開催
- ・オンライン：ZOOM、YouTube ライブ配信（限定公開）

【参加】：47名参加（うちスタッフ6名）、懇親会30名参加（うちスタッフ6名）

【要約】

○全体

- ・ふるさとの写真や動画で懐かしんでいた
- ・終始和やかな雰囲気で一体感があった
- ・文字通り同窓会の雰囲気があり、ファンもといかん気質に触れられ喜んでいた

○意見交換等

- ・現地との中継で地元住民との触れ合いに笑みがこぼれていた
- ・ふるさとの今の様子を知れて喜んでいた
- ・サロバツ太鼓の子供たちへの伝承を期待する声が多かった

○ふるさとへの支援可能な分野

- ・問寒別の床屋をサポートしたいというお声があった
- ・SNS戦略面で支援したいというお声があった

○要望

- ・サロバツ太鼓の子どもたちへの伝承による郷土愛醸成
- ・帰省時に体育館開放
- ・ふるさとのイベントや日常の情報発信期待
- ・当日の資料や映像に参加できなかった人へ周知要望
- ・問寒別に戻る機会の創出（イベント等）、費用一部助成、現地移動支援
- ・継続的な同窓会開催、次回開催
- ・もっとといかんを知りたい

○反省点

- ・会場設営準備時間確保（+2時間程度）
- ・事前の会場レイアウト把握のうえ配置事前計画
- ・集合写真撮影
- ・中継手法練度向上
- ・問寒別地区での声掛け参加要請
- ・生涯学習センター確保（会場）

○事後アンケート結果：11/13 現在 16 件

(よかった点)

- ・特産品や現在の様子を知れた
- ・数十年ぶりの、友達との再会
- ・糠南クリパで地域外からたくさん来訪していることに驚いた、参加してみたい
- ・映像資料
- ・東京まで視野に入れたふるさと活性化への意気込みや積極性に感銘
- ・といかんを思う熱い心

(イベント意見要望等)

- ・参加者間（出身者といかんファン）で懇談交流できる時間をもっとほしい
- ・自己紹介や集合写真など次につながるコミュニケーションタイム
- ・現地からの参加
- ・継続的な開催、道内での同窓会開催

(交流事業で期待すること)

- ・ふるさと訪問：ワーホリで現地滞在、といかんイベント創出、ふるさとツアー
- ・情報発信：SNS 情報発信、ふるさとレター発行、広報誌 LINE 閲覧化
- ・ふるさと活性化案の目安箱フォーム

(名称)

- ・問寒別・ふるさと同窓会
- ・といかん同窓会
- ・ふるさと・といかんゆかりの会
- ・あざといかんの集い
- ・どげんかせん といかん

(その他)

- ・若い人の力が必要(重要)で、如何に問寒別に若者が遊びに来てくれるかが肝
- ・今回とても楽しかったです。同級生がいらないような環境でしたので、行っても知り合いいない…との考えもありましたが、なかなか里帰りができてない町や実家の様子を知ることができ、また当時自分も関わった記念誌で、当時の青春を感じるきっかけにもなりました。遠いところ開催をしてくださり、ありがとうございました
- ・問寒別を離れて 40 年余り、今年ほど振り返ったことはなかったように思います。ふるさとを考える機会と大切さを思い起こしていただき感謝します
- ・安全情報（つまりクマ情報）を知る手段があれば旅にたすかります

野々村町長：挨拶・ふるさと報告



会場前方



参加者交流



現地中継



芳野代表：NPO 法人紹介



会場後方



特産品飲食ブース



懇親会

